

学校図書館の時間「ブックンタイム」を教育課程に位置付け、情報活用能力を育成する取組

静岡県 富士市立富士川第一小学校

基本データ

所在地	富士市岩淵 107 番地
児童生徒数	375 人
教職員数	25 人
蔵書数	12,698 冊
年間貸出冊数	38,186 冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】計画的・組織的な運営・活用、情報活用能力の育成、情報機器の活用

【活動のねらい】

- 児童の読書意欲を喚起し、情報活用能力を身に付ける。
- 教育課程に学校図書館教育を位置付け、司書教諭が全学年の児童に指導する時間を確保することで、指導の効果を上げる。
- 「ブックンタイム」は必ず担任を含む3人の指導者で行うことで、教職員全体の学校図書館教育の指導スキルを高める。
- 保護者に活動の様子を伝えたり協力を求めたりすることにより、家庭の読書に対する意識を高める。

取組・活動の概要

【対象学年】全学年

【対象授業】国語科・社会科・理科・生活科・総合的な学習の時間 他

【頻度・時期】「ブックンタイム」は週1時間 各クラス年2回程度

(1) 整備・配置等の内容

- 2種類の年間指導計画の作成(月別のものと付きたい力別のもの)
- 司書教諭(4年生担任)の週課のうち、1時間を学校図書館業務に専念する時間として位置付ける。(平成30年度より実施)
- 司書教諭が「ブックンタイム」(資料活用の力を伸ばしたり多方面からの読書の楽しさを味わったりすることを目的とした学校図書館の時間)の準備や指導等に専念できるように、学校図書館業務を司る教員を、司書教諭の他にもう1名配置し、2名体制とする。



学校図書館の時間「ブックンタイム」

- 「ブックンタイム」を、その後の授業に生かすため、必ず司書教諭・学校司書に担任を加えた3T指導とする。

(2) 取組・活動内容の詳細

- 司書教諭・学校司書・担任の3人の指導者で児童の情報活用能力の育成を図る。
- 小中連携・一貫教育の一環として、中学校のテスト週間に合わせ小中で「ノーメディアデー」を設定し、「家読」を勧める。
- 参観日に学校図書館を開放し、保護者への貸出を行う。



授業参観後の図書館開放(保護者への貸し出し)

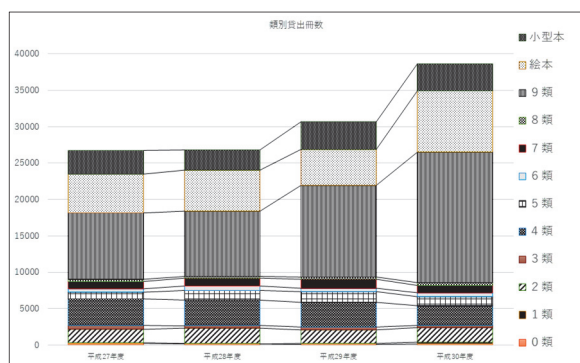
- PTA主催イベントで「ブック交換会」を実施する。(平成30年度より実施)

取組・活動の工夫や特徴

- 単元を通して身に付けたい力を明確にし、「ブックンタイム」がより効果的に子供たちの力を付ける時間となるように考え、単元の中に組み込んで実施した。
- 子供たちが、「ブックンタイム」で身に付けた力を生かし、達成感を味わうことのできる学習となるように、司書教諭と学級担任の打合せ時間を大切に、必ず実施した。
- 2種類の年間指導計画を作成し、指導する全ての教員が子供たちに身に付けたい力を系統的に把握することができるようにした。
- 施設一体型の公立幼稚園と連携し、毎週学校図書館を開放し園児に貸出を行っている。
- 入学前の説明会や保護者会等において、小学校教員および学校長が「読書のすすめ」の話をし、就学前から子供と保護者の読書への意識を高めている。
- 小学校だけの取組にせず、中学校と連携して「ノーメディアデー」を設定し、「家読」を勧めている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 平均貸出冊数が月 5.8 冊（平成 28 年度）から月 8.6 冊（平成 30 年度）へと着実に伸びた。さらに、貸出冊数を分類別に見ると 9 類が大幅に増えており、子供たちがより多くの文章に親しんでいる。



類別貸出冊数の年次推移

- 公共図書館への協力貸出依頼冊数は、21 冊（平成 28 年度）から 117 冊（平成 30 年度）と大幅に増え、多くの学級担任が学校図書館資料を活用した授業を実践している。

- 平成 30 年度には、PTA 主催のイベントでブック交換会のアイデアが出た。保護者の読書に対する意識が高まったと考える。
- 今後は、小学校時代に身に付けた読書習慣と情報活用能力を生かし、中学校でさらに読書生活を充実させ、図書館資料を自在に活用できる力を伸ばしてほしいと考える。

現在行われている小中連携・一貫教育の交流研修会において、小中の教員同士が児童生徒及びこれまでの取組について情報交換し、指導に生かしていく機会を増やしていきたい。